

総会・研修報告

平成30年度 徳島県医療ソーシャルワーカー協会 定期総会
(H30. 5. 20) <博愛記念病院 にて>

平成30年度 定期総会が、平成30年5月20日（日）博愛記念病院 にて開催されました。定期総会では、平成29年度の事業報告、会計・会計監査報告が行われました。続いて、平成30年度の事業計画案と予算案についての提案が出され、質疑応答を経て、異議なく可決されました。定期総会後の後には、記念講演として、医療法人 平成博愛会の武久 洋三 理事長より「平成30年度 診療報酬・介護報酬の同時改定から紐解く！ ～これからの医療ソーシャルワーカーに期待すること～」というテーマにて講演して頂きました。

「平成30年度定期総会へ参加して」

小松島病院 日裏 智里

5月20日に開催された定期総会にて、医療法人平成博愛会 博愛記念病院理事長の武久洋三先生より「平成30年度診療報酬・介護報酬の同時改定から紐解く！～これからの医療ソーシャルワーカーに期待すること～」の演題でご講演いただきました。

平成30年度診療報酬介護報酬同時改定の総評として武久先生は、「アウトカム重視」であると、これからは病気で入院したら治療して改善して日常生活にできるだけ早く戻すことのできる病院に患者は集中するとお話しくださったことが印象的でした。また、病院は今後「広域急性期病院」「地域多機能型病院」の二つに大別されてゆくと提言され、急性期、地域包括期、慢性期それぞれのステージの現状と課題について分かりやすく説明してくださりました。

また、リハビリテーションについてもさまざまな改革・提言をお話しくださり、中でも嚥下・排泄リハビリの優先や知的リハビリを重視することについては、日頃回復期リハビリテーション病棟で相談支援している中で、患者さんやご家族から、排泄に対する改善の希望や今後良くなるかどうか不安の声をよく聞くのでリハビリの大切さを感じており非常に共感する内容でした。

武久先生がソーシャルワーカーに求めることとして、チーム医療としてMSWには、医療知識をつける必要があり、MSWが患者さんと面談する時には、「顔つき」「どこを見ているか」「ちゃんと相手の顔を見ているか」「着衣の状況」「清潔度」「臭気」「四肢の可動性」を見てほしいと具体的なアドバイスをいただきました。

最後に、退院支援で病院と患者さんとの間に入って調整している中で病院の方針との間で悩むことの多いMSWに対して、MSWは患者さんがどう思っているのか、患者さんの為に何が必要かを考えて、患者さんにとって一番いい選択をしてあげてほしいとお話しくださり、最近研修に参加できていなかった私にとって刺激を受けた時間でした。

フレッシュ医療ソーシャルワーカー 研修（H30.6.3） <博愛記念病院 にて>

「フレッシュ医療ソーシャルワーカー研修に参加して」

吉野川医療センター 千塚 麻美子
葛籠 美穂

今回のフレッシュセミナーでは医療ソーシャルワーカーとしての心構えや知識を1日かけて学ばせてもらいました。午前では特に医学の知識についての講義が、医療用語が飛び交う現場で働くソーシャルワーカーにとって必要な知識だと感じました。また診療報酬についての講義では、自分の行っている退院支援はどのような仕組みであるか理解しながら学ぶことができました。今年は診療報酬と介護報酬の同時改定の年であり、このセミナーで学んだこと以外にも、自分で情報を収集し、活かしていこうと思いました。（千塚 麻美子）

後半は、アセスメントの取り方や記録の仕方、面接技術の方法等について学ばせて頂きました。「MSWのアセスメント」では、援助者が利用者の問題について情報を収集して、整理・分析し、専門的な判断を行い、共有すべき解決課題をまとめあげる作業である事を学びました。その作業の中で、患者の強みに焦点を置き、プラスの側面も積極的に取り入れる事が重要である事も感じました。「面接技術」では、MSWとしての基本姿勢や専門職に求められる3つのHについて聞かせて頂きました。この研修で学んだ事を今後の支援に活かしたいと思います。（葛籠 美穂）